

# 韓國日本語學會ニュースレター

## [2022-3]



発行人: 盧姪鉉 / 編集人: 張良光 / 発行所: 韓国日本語学会 / 発行日: 2022.3.5.

ご挨拶	1
役員名簿	2
常任理事会	7
会員情報	9
学術大会開催報告	11
「365 One Stop 論文投稿システム」	13
連携協力研究会活動報告	14
編集委員会	15
『日本語学研究』論文投稿案内	16
学会ホームページ案内	22

事務局 〒01369 Seoul 特別市 道峰區 三陽路 144gil 33 徳成女子大学校 人文社会館 424 号  
盧姪鉉教授研究室

 <http://www.jlak.or.kr>

(研究編集事務局長: 李炤羅) 010-8901-2603  
(學術事業企劃事務局長: 扈圭珍) 010-3464-1660  
(教育広報事務局長: 伊藤貴雄) 010-2656-2098

## ご挨拶



尊敬する韓国日本語学会の会員の皆様、

韓国日本語学会第12代編集副会長を務めます、明知大学の李恩美です。

凍てつく冬が過ぎ、希望に満ちたスタートを切る春がやって来ました。どんな困難に直面しても希望の芽は芽生えるということを改めて自然の道理から学ぶ思いがいたします。

コロナウイルス感染症の拡散による様々な困難の中でも、会員の皆様の学会への変わらぬご関心とご支援を賜り、「韓国日本語学会」は、国内唯一の日本語学専門学会としての地位を確固たるものにしており、会長以下の学会の全メンバーが、内実のある専門学会としての役割を果たすために最善を尽くしております。この場をお借りしまして、会員の皆様に心から感謝の言葉を申し上げます。

特に、当学会の学術誌『日本語学研究』は、2009年から韓国研究財団登録の学術誌として韓国における日本語学研究的発展の中心としての役割を果たしており、これはひとえに会員の皆様の貴重なご研究と優れた論文の賜物です。今後とも、会員の皆様方の貴重な論文を当学会に多くご投稿いただきますようお願い申し上げます。

急変する国内外の状況と共に発展を続ける人工知能技術などにより外国語専攻者の立場が狭くなっていることに残念な気持ちは拭えませんが、「危機こそチャンス」、「どんなことでも力を合わせれば容易い」という先達の尊い教えを心に刻み、学会の会員の皆様が力を合わせて、このような困難な時期を機会としていけることを期待しております。

今後も会員の皆様の変わらぬご関心とご参加をお願い申し上げ、本年はぜひともオフラインで会員の皆様と顔をあわせて、学術と交流の花が咲くことを心より念願しております。

暖かい春の気配とともに、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

2022年3月5日

第12代韓国日本語学会 編集副会長 李恩美

# 役員名簿

## ■常任理事

役職		氏名	所属
會長		盧姪鉉	徳成女子大學校
副會長	研究	蔡盛植	高麗大學校
	編集	李恩美	明知大學校
	學術	郭銀心	京畿大學校
	事業企画	李竣瑞	聖潔大學校
	教育弘報	角ゆりか	明知大學校
總務理事	研究編集	鄭賢兪	西京大學校
	學術事業企劃	辛銀真	仁川大學校
	教育弘報	中村有里	仁川大學校
財務理事		殷守希	淑明女子大學校
評価理事		梁乃允	中央大學校
學術理事		金義泳	ハンバツ大學校
		張允娥	延世大學校
		趙恩英	釜山外國語大學校
		白以然	高麗大學校
編集理事		國生和美	東國大學校
		申媛善	建國大學校
		崔惠貞	カトリック大學校
		全紫蓮	慶尚國立大學校
		金惠娟	聖潔大學校
出版理事		李粹曷	嘉泉大學校
情報理事		李相怡	明知専門大学
弘報理事		張良光	カトリック大學校
国際交流理事	日本	金廷珉	亜細亜大学
		朴秀娟	神戸大学
		尹智鉉	中央大学
		鄭惠先	北海道大学
	中国	朴孝庚	漢陽サイバー大學校
		全永男	延辺大學校
		母育新	西安外国語大學校
		盛文忠	上海外国語大學校
	台湾	羅曉勤	台湾銘傳大學校

	オーストラリア	Lee,Duck-Young	The Australian National Univ.
対外協力理事	ソウル	文彰鶴	韓國外國語大學校
	京畿	方允炯	水原大學校
	江原	高慧禎	カトリック関東大學校
	忠北	李忠奎	西原大學校
	忠南	金玄珠	ハンバツ大學校
	慶北	李慈鎬	慶北大學校
	慶南	河在必	釜山大學校
	全南	林禔映	全南大學校
	済州	孫榮奭	済州大學校
	日本	金照雄	時事日本語社
事業企劃理事		李舜炯	慶北大學校
		李承珉	啓明大學校
事務局長	研究編集	李炤羅	建國大學校
	學術事業企劃	扈圭珍	徳成女子大學校
	教育弘報	伊藤貴雄	弘益大學校

■一般理事（国内：가나다順，海外：五十音順）

国内		
検校裕朗(極東大)	具明會(韓國外大)	権城(木浦大)
金善姬(水原大)	金英敏(同徳女大)	金嚙泳(同徳女大)
金鍾完(江原大)	長島倫子(建國大)	野田高広(啓明大)
沼田浩通(仁川大)	高橋美保(韓國外大)	持田祐美子(平澤大)
朴江訓(全州大)	朴京愛(建國大)	朴良順(蔚山科技大)
齊藤明美(翰林大)	成知炫(韓國放送通信大)	孫範基(サイバー韓國外大)
宋殷美(白石藝大)	申義植(韓國外大)	相澤由佳(聖潔大)
安志英(釜慶大)	梁敏鎬(啓明大)	尹楨勛(釜山外大)
李京哲(東國大)	李羽濟(白石藝大)	李賢珍(祥明大)
鄭相美(新羅大)	趙宣映(仁川大)	崔延朱(慶尚國立大)

海外		
新井保裕(文京学院大)	石塚ゆかり(青森大)	市島佑起子(鹿児島大)
今村圭介(東京海洋大)	任炫樹(帝塚山学院大)	大塚薫(高知大)
生越直樹(東京大)	吳泰均(北海道大)	吳惠卿(国際基督教大)
河崎啓剛(東京大)	金愛蘭(日本大)	金庚芬(明星大)
金菊熙(松山大)	金智賢(宮崎大)	金蘭美(横浜国立大)
齊藤良子(国士舘大)	朱炫姝(目白大)	高木丈也(慶應義塾大)
辻野裕紀(九州大)	寺尾智史(一橋大)	永原歩(東京女子大)
名嶋義直(琉球大)	早矢仕智子(宮城学院女子大)	松永稔也(宮崎大)
幸松英恵(東京外大)	尹盛熙(関西学院大)	吉田さち(跡見学園女子大)
李讓珍(東京都立大)		

## ■編集委員会

職責	氏名	所属
編集委員長	姜錫祐	カトリック大學校
編集理事	國生和美	東國大學校
	金惠娟	聖潔大學校
	申媛善	建國大學校
	全紫蓮	慶尚國立大學校
	崔惠貞	カトリック大學校

音声学 音韻論	閔光準(建國大) 宇都木昭(名古屋大学/日本) 李連珠(北海道大学/日本) 李承英(光云大) 孫範基(サイバー韓國外國語大) *高慧禎(カトリック関東大)	語用論 社会言語学	琴鍾愛(忠南大) 金庚芬(明星大学/日本) 鄭惠先(北海道大学/日本) 吉田さち(跡見学園女子大学/日本) 李恩美(明知大) *梁敏鎬(釜慶大)
統辞論 形態論	裴銀貞(釜山外國語大) 金廷珉(亜細亜大学/日本) 竹沢幸一(筑波大学/日本) 李徳泳(The Australian National Univ./濠洲) *朴江訓(全州大)	日本語教育	石井恵理子(東京女子大学/日本) 落合由治(淡江大学/臺灣) 曹英南(高麗大) 辛銀眞(仁川大) 李奎台(東京外大/日本) 角ゆりか(明知大) *金義泳(ハンバツ大)
意味論 語彙論	姜昃完(大邱カトリック大) 金愛蘭(日本大学/日本) 金愛蘭(慶北大) 塩田雄大(NHK 放送文化研究所/日本) 孫栄爽(濟州大) 宋永彬(梨花女子大)	日本語史	吳美寧(崇實大) 羅工洙(嶺南大) 林禎映(全南大) 朴善玉(大眞大) *朴孝庚(漢陽サイバー大)
その他 日本語学	檢校裕朗(極東大) 中村有里(仁川大) 李朱利愛(梨花女子大) 盛文忠(上海外国語大学/中國) 李忠奎(西原大) 李東哲(新羅大) 全永男(延辺大学/中國) *李舜炯(慶北大)	◆ 「*」は、実務担当編集委員(実務委員) そのほかは審査担当編集委員(査読委員)である	

## ■監事

成玟珂(祥明大學校)

李善姬(ソウル女子大學校)

■研究倫理委員会

委員長	非公開
委員	非公開

■学術研究発展委員会

委員長	吳玆定(建國大)
委員	辛銀真(明知大)、朴京愛(建國大)、崔惠貞(カトリック大)、 金義泳(ハンバツ大)

■学術誌発展委員会

委員長	李恩美(明知大)
委員	高慧禎(カトリック関東大)、姜錫祐(カトリック大)、文彰鶴(韓國外大)、 鄭相美(新羅大)、梁敏鎬(釜慶大)

■日本語教育発展委員会

委員長	角ゆりか(明知大)
委員	金志宣(梨花女子大)、中村有里(仁川大)、持田祐美子(平澤大)、 迫田垂希子(明知大)、川口慶子(崇實大)、小島堅嗣(培材大)

■学術賞選定委員会

委員長	洪珉杓(啓明大)
委員	姜錫祐(カトリック大)、朴海煥(淑明女子大)、李暉洙(韓國放送通信大) 李恩美(明知大)、曹英南(高麗大)

■学会発展基金委員会

委員長	李竣瑞(聖潔大)
委員	高慧禎(カトリック関東大)、金惠娟(聖潔大)、南得鉉(明知専門大)、 檢校裕朗(極東大)

■諮問委員会

監事	黃永熙(漢陽サイバー大)
委員	姜錫祐(カトリック大)、康仁善(聖公會大)、金玉任(誠信女子大)、 盧明姬(東國大)、閔光準(建國大)、朴海煥(淑明女子大)、 李暉洙(韓國放送通信大)、李範錫(カトリック大)、李漢燮(高麗大)、 尹幸舜(ハンバツ大)、鄭相哲(韓國外国語大)、洪珉杓(啓明大)

# 常任理事会

## \* 第一次 常任理事会

(2021年12月10日(金) 18:00 ZOOM オンライン会議)

### 1. 執行部関連報告

- 第12代韓国日本語学会 全体構成および体系報告

### 2. 学術・事業企画 関連報告

- 3月と9月の国際学術大会のうち、3月はハイブリッド方式のシンポジウムで実施
- 国際学術大会の主題及び開催校、開催日時について

### 3. 編集 関連報告

- 第70輯『日本語学研究』発行経過報告

### 4. 財務 関連報告

- 共同著者に関して（全著者、会員加入必須）
- 学術団体会員の確認および誘致
- 予算決算管理システムの整備

### 5. 情報・弘報活動 関連報告

- ホームページ更新に関する報告
- ニュースレター発行回数の調整



### 6. 後援活動 関連報告

- 第2回継承日本語スピーチ大会 in 韓国（11月13日）
- 第9回韓国大学生日本語ディベート大会（11月27日）

### 7. 国際 関連報告

- 9月国際学術大会の参加について
- 台湾日本語文学会及び、中日対照言語学会参加予定

### 8. 総務・事務局 関連報告

- 執行部・常任理事へ委任状及び委嘱状送付

### 9. その他

- 委員会構成
- 連携協力研究会の紹介

韓国 OPI 研究会・日韓コミュニケーション研究会・日本語音声研究会・韓国継承日本語教育研究会・  
韓国協働実践研究会・韓国日本語研究会・AI とクリエイティブラーニング研究会

**\* 第二次 常任理事会**

(2022年2月15日(火) 17:00 ZOOM オンライン会議)

**1. 学術・事業企画 関連報告**

- 2022年3月19日(土) 徳成女子大 国際学術大会 進行状況報告
- 国際学術大会(9月)の主題及び開催校、開催日時について
- 学術大会支援事業の申請準備

**2. 編集 関連報告**

- 第71輯『日本語学研究』発行経過報告
- 『日本語学研究』規定修正
- オンライン論文投稿及び審査システム(JAMS)

**3. 情報・弘報活動 関連報告**

- ニュースレター発刊 進行状況

**4. 国際 関連報告**

- 9月国際学術大会の参加について
- 台湾日本語文学会及び、中日対照言語学会参加予定

**5. 総務・事務局 関連報告**

- 執行部・常任理事へ委任状及び委嘱状送付完了、ニュースレター依頼

**6. その他**

- 2022年9月国際学術大会発表者募集案内

# 会員情報

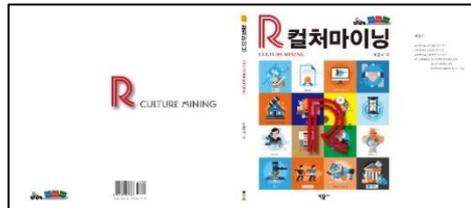
## ○ 出版

1. 著書名：『リスクコミュニケーション -排除の言説から共生の対話へ-』  
著者：名嶋義直（編） 太田 奈名子・韓 娥凜・村上 智里・義永 美央子・  
林 良子・野呂 香代子・西田 光一（著）  
出版社：明石書店 <https://www.akashi.co.jp/book/b583986.html>  
出版日：2021年6月6日



2. 著書名：『日本古文献中の汉字词汇研究』  
（日本語タイトル：日本語史における漢語研究の視点と方法）  
著者：張愚  
出版社：上海交通大学出版社  
出版日：2021年4月

3. 著書名：『컬처마이닝』  
著者：이준서  
出版社：박문사  
ISBN 979-11-89298-76-8



4. 著書名：『新版 社会言語学図集—日本語・英語・中国語・韓国語解説—』  
著者：真田信治・朝日祥之・簡月真・李舜炯編  
出版社：ひつじ書房  
出版日：2021年11月



5. 著書名：『アジア・太平洋における日本語の過去と現在』  
著者：今村圭介・ダニエルロング編  
出版社：ひつじ書房  
出版日：2021年10月



- ※ 韓国日本語学会の前/現職役員陣が執筆に参加した著書です。  
本著は、編著者のダニエルロング先生/今村圭介先生（前・現・海外一般理事）、  
黄永熙先生（前・韓国日本語学会会長）、高木丈也先生（現・海外一般理事）、  
李舜炯（常任理事）先生といった方々が編著者、共著者として執筆に携わっています。

## 会員情報

### ○ 任用及び、転任

1. 李東哲 会員  
(前) 新羅大學校 ⇒ 中国 山東省外事職業大学 教授
2. 韓娥凜 会員  
桃山学院大学 専任講師 (2022年4月1日～)

### ○ 受賞

張愚 会員  
2021年度 第16回「漢検漢字文化研究奨励賞」佳作賞  
(日本漢字能力検定協会漢字文化研究所)

### ○ 事務局

〒01369  
Seoul 特別市 道峰區 三陽路 144gil 33 徳成女子大學校 人文社会館 424 号  
盧姪鉉教授研究室

 <http://www.jlak.or.kr>

(研究編集事務局長：李炤羅) ☎ 010-8901-2603  
(學術事業企劃事務局長：扈圭珍) ☎ 010-3464-1660  
(教育広報事務局長：伊藤貴雄) ☎ 010-2656-2098

 [jlak123@hanmail.net](mailto:jlak123@hanmail.net)

● 審査料及び掲載料の納付先

국민은행(kookmin Bank) 014301-00-002268  
은수희(한국일본어학회) 殷守希 (韓国日本語学会)

- ・ 個人会員の場合は学会運営の関係上、郵送料をいただいております。学会誌の発送をご希望の方は事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。学会誌に記載された論文は創刊号から最新号まで学会ホームページの学会誌 ([학술지](#))よりダウンロードできますのでご利用ください。

## 第45回 国際学術大会

### 【第45回 国際学術大会 開催】

- 主題：「データ基盤の日本語学研究 -Culture Mining、AI、日本語教育-」
- 日時：2022年 3月 19日(土)
- 場所：徳成女子大 学校（ZOOMを利用したオンライン学術大会）
- 主催：韓国日本語學會、聖潔大 学校文化フレームビッグデータ研究所
- 主管：韓国日本語學會
- 後援：徳成女子大 学校、JAPAN FOUNDATION SEOUL 、（株）時事Books、  
AIとクリエイティブ・ラーニング研究会

### <Program>

13:00-13:15	<p>■開会式・総会 &lt;司会：辛銀眞(仁川大)&gt;</p> <p>開会の辞：盧姪鉉(徳成女子大 / 韓国日本語學會 會長)</p> <p>祝 辞：加藤剛(日本国際交流基金ソウル文化センター所長)</p> <p>張根壽(祥明大 / 韓国日語教育学会 會長)</p> <p>聖潔大 学校文化フレームビッグデータ研究所MOU締結</p>
13:15-14:00	<p>■企画発表 1</p> <p>李竣瑞(聖潔大 学校文化フレームビッグデータ研究所 所長)</p>
14:00-14:45	<p>■企画発表 2</p> <p>林尚諄(聖潔大)</p>
14:45-14:55	<p>■研究倫理講演 &lt;司會：辛銀眞(仁川大)&gt;</p> <p>蔡盛植(高麗大)</p>
14:55-15:15	<p>休息</p>
15:15-16:00	<p>■企画発表 3</p> <p>落合由治(淡江大)</p>
16:00-16:45	<p>■企画発表 4</p> <p>檢校裕朗(極東大)</p>
16:45-17:00	<p>■閉会式 &lt;司会：辛銀眞(仁川大)&gt;</p> <p>閉会の辞：盧姪鉉(徳成女子大)</p>

## 企画発表

韓国日本語學會, 聖潔大學校文化フレームビッグデータ研究所,  
AIとクリエイティブ・ラーニング研究會(AI-CL) 共同企画

		主題		討論	司会
13:15- 14:00	<b>企画発表 1</b> 李竣瑞 (聖潔大學校文化 フレームビッグデータ 研究所所長)	컬처마이닝(Culture Mining)	韓	金囁泳 (同徳女子大)  金恵娟 (聖潔大)	中村有里 (仁川大)
14:00- 14:45	<b>企画発表 2</b> 林尙諄 (聖潔大)	문화이미지프레임망(Cultural Image Frame Network, CIFN) 소고(小考)	韓	尹榮珉 (延世大)  孫榮奭 (濟州大)	郭銀心 (京畿大)
14:45- 14:55	<b>研究倫理講演</b>		韓	蔡盛植 (高麗大)	辛銀眞 (仁川大)
14:55- 15:15	休息				
15:15- 16:00	<b>企画発表 3</b> 落合由治 (淡江大 AI-CL顧問)	AIとテキストマイニング	日	曾秋桂 (淡江大)  尹楨勛 (釜山外大)	朴江訓 (全州大)
16:00- 16:45	<b>企画発表 4</b> 檢校裕朗 (極東大 AI-CL会長)	AIと外国語クリエイティブ・ ラーニング	日	李偉煌 (靜宜大)  李敬淑 (垂洲大)	飯千和也 (祥明大)

韓国語でお困りの海外外国人研究者のための  
**365 One Stop 論文投稿システム**

◎「365 One Stop 論文投稿システム」とは、

韓国語でお困りの海外外国人研究者のみなさまが円滑に論文投稿できるよう、サポートするために考えられた論文投稿システムです。

これまで海外から当学会の学術誌『日本語学研究』に投稿するには、韓国の研究財団が指定する論文投稿システム(JAMS)を通さなければなりません。しかし、JAMSは韓国語と英語にのみ対応しており、韓国語の分からない海外外国人研究者が韓国語や英語で会員登録などの複雑な手続きを進めていくのは困難な状況にあります。

当学会では、このような現状を踏まえて、担当者とのメールを通して円滑に論文投稿できるよう、「海外外国人研究者のための365ワンストップ論文投稿システム」を準備いたしました。

論文投稿をお考えの海外外国人研究者の方は以下のメールアドレスまでお問い合わせください。(韓国語にお困りでない研究者の方は「365 One Stop 論文投稿システム」をご使用いただけません。ご了承のほどお願いいたします。)

論文作成例や論文投稿に関する手続きなどのご案内をいたします。論文投稿時には英語及び韓国語での要旨が必要となりますが、日本語で要旨を作成していただければ、当学会で韓国語に翻訳いたします。

その他、ご不明な点やご質問などいつでも承ります。

海外外国人研究者のみなさまのご投稿をお待ちしております。

担当者：國生和美(編集委員)

メールアドレス：[jlak365onestop@gmail.com](mailto:jlak365onestop@gmail.com)

韓国日本語学会第12代編集委員会一同

# 連携協力研究会活動報告

## 韓国継承日本語教育研究会

2021年度後期の主な活動についてご報告いたします。

### ◆第2回 全国継承日本語スピーチ大会 in 韓国 を開催

2021年11月13日(土)に『第2回 全国継承日本語スピーチ大会 in 韓国』を国際交流基金ソウル日本文化センターの後援を受け、Zoomにて開催しました。当日は、韓国日本語学会の盧姪鉉会長にも審査員としてご参加いただきました。子どもたちは日本語でコミュニケーションをすることの喜びを感じ、継承日本語教育に困難を抱えている保護者には可能性を示すことができました。今回は海外からの審査員もお呼びすることができ、将来海外からの参加者も視野に入れた継承日本語教育の将来性と可能性を示すことができたと思います。



### ◆勉強会の開催

2022年9月の学術大会のテーマに合わせ、基調講演をなさる川上郁雄先生の著書『「移動する子ども」学』をテキストに冬休みの間7回の勉強会を開催しました。夏休みにも開催予定です。



★韓国継承日本語教育研究会の活動にご興味を持たれた方、是非ともご連絡下さいませ。

ホームページ <http://krkeishougo.net>

Facebook グループ「韓国継承日本語教育研究会」

# 編集委員会

【日本語学研究 第71 輯（2022 年 3 月 20 日発刊）】

## 第 1 次編集委員会(オンライン)

●日時:2022.1.10(月)14:00～16:00

●場所:オンライン/Zoom 会議

● 議論内容:

(1) 71 輯（3 月 20 日発行）投稿論文審査委員選定

(2) 71 輯 編集委員会の日程及び今後の計画(案)

(3) 日本語学研究 第 72 輯 論文投稿のご案内（投稿締切日 2022 年 3 月 31 日、発行日 6 月 20 日）



## 第 2 次編集委員会(オンライン)

●日時:2022. 1. 27(木)14:00～15:00

●場所:オンライン/Zoom 会議

● 議論内容:

(1) 71 輯 審査現況確認

(2) 今後の日程

(3) 日本語学研究 第 72 輯 論文投稿のご案内（投稿締切日 2022 年 3 月 31 日、発行日 6 月 20 日）

## 第 3 次編集委員会(オンライン)

●日時:2022.2.4(金)PM2:00～

●場所:オンライン/Zoom 会議

● 議論内容:

(1) 71 輯 に投稿された 12 編に対する審査結果を検討した結果、次のとおり掲載を決定した。

(2) 投稿論文の類似度検査結果の確認

(3) 論文投稿要領及び審査項目の見直し

(4) 今後の日程

(5) 日本語学研究 第 72 輯 論文投稿案内（投稿締切日 2022 年 3 月 31 日、発行日 6 月 20 日）



# 『日本語学研究』 論文投稿案内

## 『日本語学研究』 投稿規定

### ■ 投稿規定

#### 第1条(学会誌発刊日程)

	論文投稿締切日	学会誌発刊日
第1回発刊	前年度12月31日	3月20日
第2回発刊	3月31日	6月20日
第3回発刊	6月30日	9月20日
第4回発刊	9月30日	12月20日

- ①学会誌は上記の日程で年4回発刊する。
- ②投稿論文は随時受け付け、締め切りは上記のようにする。

#### 第2条(投稿資格)

- ①原則的に本学会の会員に限る。
- ②招請講演者、姉妹学会の会員、編集委員会の推薦による海外からの投稿者は例外とする。
- ③連携協力研究会において発表した論文は、本学会での発表と同一の資格を付与する。

#### 第3条(投稿対象)

一般会員は本学会の学術発表会での口頭発表の有無と関係なく投稿することができる。

#### 第4条(論文内容)

日本語学関連の論文として、既存の国内外の学術誌に発表していない独創的な研究論文でなければならない、本学会の研究倫理規定に従わなければならない。

### 第5条(掲載限度)

一つの学会誌に掲載することができる論文は一人一編に限る。また、同一人物の単独論文は2回以上連続して掲載しないことを原則とする。ただし、招請論文等の場合は例外とする。

### 第6条(分量)

学会で規定した論文作成要領に従い、図及び表を含めて16ページ程度とする。12ページ未満及び20ページ以上の超過は受け付けないことを原則とする。

### 第7条(投稿論文受付)

- ①投稿者は本学会の論文作成要領に従って論文を作成し、学会のオンライン投稿システム(<http://jlak.jams.or.kr>)から提出する。
- ②投稿者は学会のオンライン投稿システムに会員登録する際、必ず本人の身分事項を記載しなければならない。
- ③審査用の論文本文には投稿者と関連する事項を一切記載しない。また、編集委員会の幹事が記入の有無を確認する。

### 第8条(審査)

招請論文を含む全ての投稿論文は審査規定に則り、編集委員会の主管で3人以上の審査委員の審査を経て、掲載の可否を決定する。審査委員の選定は投稿論文の専攻研究分野を考慮し、編集委員会で決定する。但し、3人の審査委員には本学会の編集委員1人又は当分野の専門家が含まれることを原則とする。

### 第9条(審査料及び掲載料)

- ①審査料は1編あたり6万ウォン、掲載料は一般論文の場合は10万ウォン、研究費受託論文の場合は20万ウォンとする。ただし、無発表論文の掲載料は一般論文20万ウォン、研究費受託論文30万ウォンとする。ただし、招請論文は審査料および掲載料を免除する。
- ②学会発表論文として認められる期間は発表日から2年以内とする。
- ③最終的な掲載論文の分量が20ページを超過する場合、1ページごとに1万ウォンを追加で負担する。
- ④審査料は論文投稿締切日までに、掲載料は掲載用原稿の提出締切日までに英語要旨文校正費2万ウォンとともに入金しなければならない。

#### **第10条(校正)**

原稿の校正は投稿者が責任を持ち、論文の編集は編集委員会の方針に従う。

#### **第11条(別刷本)**

原稿料を別途で支払うことなく、学会誌に論文が掲載された投稿者には学会誌2部と別刷本20部を贈呈する。但し、海外発送の場合には別途30,000ウォンの配送料が発生する。

#### **第12条(著作権)**

受け付けた原稿は返還しない。また、投稿論文が学会誌に掲載された場合、該当する論文の著作権は、オンライン・オフラインともに本学会に帰属する。

#### **第13条(その他)**

本規定に明示されていないその他の事項は編集委員会の決定に従う。

#### **<付則>**

- ・この投稿規定は、2015年10月30日から改訂・施行される。
- ・この投稿規定は、2015年12月21日から改訂・施行される。
- ・この投稿規定は、2017年09月01日から改訂・施行される。
- ・この投稿規定は、2018年03月21日から改訂・施行される。
- ・この投稿規定は、2019年01月11日から改訂・施行される。
- ・この投稿規定は、2019年12月06日から改訂・施行される。
- ・この投稿規定は、2020年02月21日から改訂・施行される。

# 『日本語学研究』 投稿要領

## ■ 投稿要領

### 1. 使用言語

論文は韓国語、日本語または英語で作成する。

### 2. 使用環境

原稿はアレアングルを使用して作成することを原則とし、アレアングルで入力できない漢字及び記号、図表などは他の紙面で提出する。但し、外国在住などの理由で、アレアングルを使用できない場合はMSワードを使用して作成する。

### 3. フォント

韓国語は「新明朝」、日本語は「新明朝略字」を原則とする。但し、MSワードの場合、韓国語は「明朝」、日本語は「MS明朝」で作成する。

### 4. 原稿分量

学会で規定した論文作成要領に従って、図及び表を含めて16ページ程度とするが、12ページ未満及び20ページを超過した場合は受け付けないことを原則とする。最終的な掲載論文の分量が20ページを超過する場合、追加掲載料を負担する。

### 5. 論文内容

次の順序に従い、フォント及び体裁は論文作成要領を参考にする。

#### ① 論文題目

② 著者名:著者名には脚注に所属、職位、細部専攻を記入する。(論文作成例 参照) 2人以上の共同論文の場合、第1著者を先頭に書き、必要な場合、脚注で著者の所属及び細部専攻の後に“(第1著者、交信著者)”と明示する。

③ 要旨:要旨(題目含む)は最初のページと最後のページにそれぞれ作成する。論文の最初のページの要旨は300語程度の英語(必須)で作成し、論文の最後のページの要旨は600字程度の分量で英語を除いた論文の本文と異なる言語で作成する。(例:論文の言語が日本語の場合は韓国語、論文の言語が韓国語の場合は日本語にする)

④ 研究分野:二つの要旨に投稿論文の研究分野を例に示した分野の中から選択し、明示する。(例:音声学(Phonetics)、音韻論

(Phonology)、統辞論(Syntax)、形態論(Morphology)、意味論(Semantics)、語彙論(Lexicology)、語用論(Pragmatics)、社会言語学

(Sociolinguistics)、日本語教育(Japanese Education)、日本語史(Japanese History)、その他の日本語学(Other Japanese Studies))

⑤ キーワード:二つの要旨に論文の内容を含みうる5つ以内の主題語を要旨と同一の言語で提示する。

#### ⑥ 本文

⑦ 注:本文の内容を補充する必要がある場合、脚注を作成する。

⑧ 用例出典:原則的に用例の出典を明らかにする。

⑨ 参考文献:著者名を基準にして韓国語、日本語、英語の順で作成し、書誌情報は著者名、年度、論文または著書名、論文の場合は掲載誌の巻号、発行機関、ページ数の順で漏れなく記載する。同一著者の文献が二つ以上ある場合、年次順に作成し、二つ目の文献からは著者名の代わりに下線を用いる。

例: 김정수(2003) 「한일어 조사대조」 『일본어학연구』 6 한국일본어학회 pp.1-5

\_\_\_\_\_ (2004) 「일본어 대우표현의 특징」 『일본어학연구』 10 한국일본어학회 pp.1-5

高橋太郎(1969) 「すがたともくろみ」 『日本語動詞のアспект』 麦書房 pp.1-5

Rakoff, L. (1973) Language and Women's Place. Language in Society, NY: Harper Colophone Books, pp. 1-5

## 6. 図及び表

すべての図は下段中央に、表は上段中央に<図>、<表>のように表示し、必ず題目を記入する。

## 7. インターネット資料

インターネット資料を用例出典及び参考文献として利用した場合、URLの後ろに検索年月日を明示する。

(例: <http://www.jlak.or.kr/> (検索日: 2014.3.20))

## 8. 外来語表記

ハングル正書法の外来語表記法に従う。

## ■ 審査料及び、掲載料入金要領

### [要旨発刊費]

■入金期限: 学術発表の発表要旨の投稿締切日(または発表当日)

■金額: 10,000ウォン

### [審査料]

■入金期限: 論文投稿締切日

■金額: 60,000ウォン

### [掲載料]

■入金期限: 掲載用原稿の提出締切日

■英語要旨文校正費: 2万ウォン(投稿者負担)

■金額:

学会発表論文: 一般論文(10万ウォン), 研究費受託論文(20万ウォン)

無発表論文: 一般論文(20万ウォン), 研究費受託論文(30万ウォン)

※但し、最終的な掲載論文の分量が20ページを超過する場合は1ページあたり1万ウォンを追加で負担する。

### [入金口座]

■口座番号: 国民銀行 014301-00-002268 (殷守希<韓国日本語学会>)

※入金時に送金者の氏名及び送金内容を必ず記載すること(例: 山田太郎 審査料)

### [審査及び掲載用論文提出先]

本学会オンライン投稿システム(<http://jlak.jams.or.kr>)から提出する。

## ■ 論文作成要領

論文例示ファイル(ronbunrei.hwp)をダウンロードし、これに作成することを推奨する。

1. 編集用紙の形式は以下の通りである。

■種類：使用者定義, 幅170, 縦240

■余白：上 20, ヘッダー10, 下 10, フッター-0, 左 15, 右 15

2. 論文のフォントは韓国語は「新明朝」、日本語は「新明朝略字」を原則とする。但し、MSワードの場合、韓国語は「明朝」、日本語は「MS明朝」で作成する。各部分別のフォントと体裁は次のとおりである。

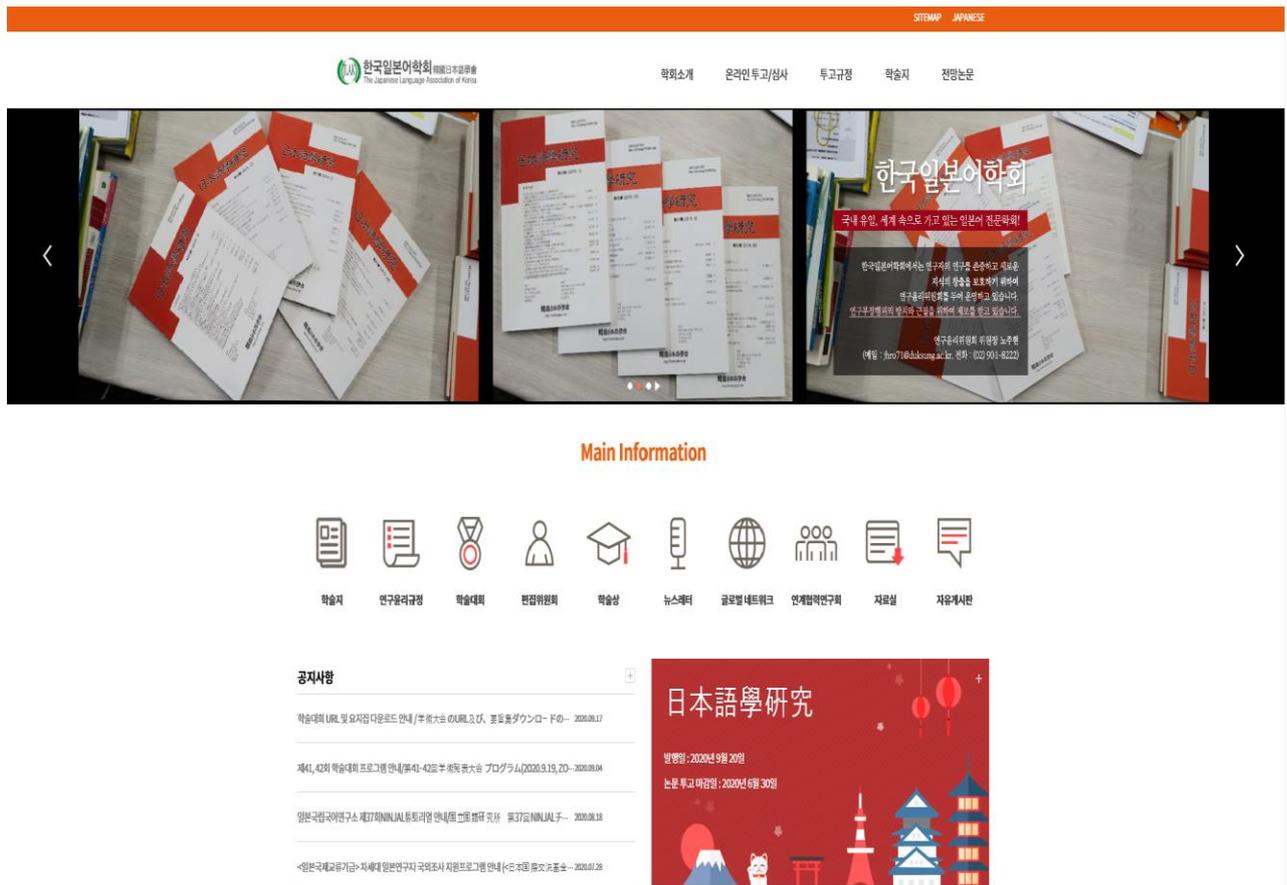
■論文題目	ポイント 16, 太字, 中央寄せ, 行間隔 160
■副題目	ポイント 12, 中央寄せ, 行間隔 160
■著者名	ポイント 13, 右寄せ, 行間隔 160
■要旨	ポイント 9, 両端揃え, 行間隔 160
■論文分野	ポイント 9, 左寄せ, 行間隔 160
■キーワード	ポイント 9, 左寄せ, 行間隔 160
■大見出し	ポイント 13, 太字, 左寄せ, 行間隔 160
■中見出し	ポイント 11, 左寄せ, 行間隔 160
■小見出し	ポイント 10, 左寄せ, 行間隔 160
■本文	ポイント 9.5, 両端揃え, 行間隔 160, 段落 インデント 10pt
■引用文	ポイント 9, 両端揃え, 行間隔 160, 段落 左余白 30pt (例文など番号がある場合、段落 アウトデント 12pt追加)
■脚注	ポイント 9, 両端揃え, 行間隔 130, 段落 アウトデント 12pt
■参考文献	ポイント 9, 両端揃え, 行間隔 160, 段落 アウトデント 55pt

\* 論文作成例示を参考にすること。

# 学会ホームページのご案内

韓国日本語学会ホームページでは、以下のような多様なサービスをご提供しています。

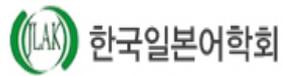
1. 論文投稿
2. 論文審査
3. 『日本語学研究』論文検索およびダウンロード
4. 学術大会関連情報および要旨集ダウンロード
5. その他本学会関連情報



学会ホームページ URL

<http://www.jlak.or.kr/>

The Japanese Language  
Association of Korea



ニュースレターでは、会員の皆様の近況及び、お知らせを掲載しています。

記事の掲載をご希望の方は、メール ([jlak123@hanmail.net](mailto:jlak123@hanmail.net)) までご連絡ください。

■ 학회사무국	■ 学会事務局
<p>〒(01369) 서울특별시 도봉구 삼양로 144 길 33 덕성여자대학교 인문사회관 424 호 노주현 교수 연구실</p> <p>(연구편집 사무국장 : 이소라) ☎ 010-8901-2603 (학술사업기획 사무국장 : 호규진) ☎ 010-3464-1660 (교육홍보 사무국장 : 이토 타카오) ☎ 010-2656-2098</p>	<p>〒01369 Seoul 特別市 道峰區 三陽路 144gil 33 徳成女子大学校 人文社会館 424 号 盧姪鉉教授研究室</p> <p>(研究編集事務局長 : 李炤羅) ☎ 010-8901-2603 (學術事業企劃事務局長 : 尾圭珍) ☎ 010-3464-1660 (教育広報事務局長 : 伊藤貴雄) ☎ 010-2656-2098</p>
<p>E-mail : <a href="mailto:jlak123@hanmail.net">jlak123@hanmail.net</a>      Homepage : <a href="http://www.jlak.or.kr">http://www.jlak.or.kr</a></p>	